

# 介護老人保健施設（新築資金、増改築資金）の融資額の算定方法

## （1）算定方法の概要

- ▶ 新築資金及び増改築資金の融資額の算定については、所要額（建築工事費と設計監理費）に融資率を乗じる方法となります。（土地取得資金は除きます。）

$$\text{所要額（建築工事費と設計監理費）} \times \text{融資率（70\%）}$$

- ※ 所要額（建築工事費と設計監理費）については、解体撤去費、造成工事費等は含めません。
- ※ 補助金等がある場合は、所要額から補助金を差し引いた額と所要額に融資率を乗じた額のいずれか低い額となります。
- ※ 老朽施設の改築整備に係る資金については、融資率 90%以内とします。
- ※ 在宅復帰・在宅療養強化型介護老人保健施設の基本施設サービス費を取得する施設または在宅復帰・在宅療養支援機能加算を取得する施設の建築資金については、融資率を 85%以内とします。
- ※ 療養病床の介護老人保健施設への転換にかかる資金については、融資率を 90%以内とします。

## （2）限度額

- ▶ 建築資金 7 億 2,000 万円
- ▶ 次の場合は、限度額が加算されます。

保育施設	1,500 万円
認知症専門棟	8,000 万円
都市型	1 億円
通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション訪問看護、短期入所療養介護の中から、複合的に在宅支援を行うためのサービスを提供する場合	1 億円
看取りを行う場合	1 億円

## （3）融資額の計算例

工事名	金額
1. 建築工事費	956,000 千円
2. 対象外建築費（解体工事費等）	11,500 千円
3. 設計監理費	44,000 千円
合計（1 + 2 + 3）	1,011,500 千円

### 【所要額の計算方法】

$$1,000,000 \text{ 千円} (1+3) \times \text{融資率 (70\%)} = \text{7 億円【ご融資額】}$$

- ※ 計算例はあくまで参考です。整備内容等により、変わる場合がございます。

## （4）その他

- ▶ 機械購入資金及び長期運転資金については、別途算定方法がありますので、お問い合わせください。